土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　　二級河川 黒瀬川水系 黒瀬川外 災害実施設計書作成に伴う業務委託

事業名または工事名

調査目的及び調査対象　　道路　掘削・掘削のり面

ボーリング名	No.765	調査位置	呉市豊浜町大浜（大浜浄化センター北）			北緯	34° 9′ 40.05″
発注機関	広島県 西部建設事務所 呉支所			調査期間	令和01年08月20日～令和01年08月27日	東経	132° 48′ 21.25″
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	T.P. 17.55 m	角度	0°	方位		地盤勾配	15°	使用機種	試錐機	D1-B(東邦地下)
総削孔長	11.85 m								エンジン	NF-8(ヤンマー)	ポンプ	BG-3B(東邦地下)

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定年月日	標準貫入試験 N値	N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
	17.35	0.20		表土、粘土混り砂		暗褐																	
1				粘土混り砂		褐	極密		崖錐堆積物。 マサ土起源の粗砂主体で細粒分を混入する。 細礫の混入は点在程度である。			20.0	1.15	5	5	10	20						
2	15.55	2.00		礫混り砂質土		褐	極密		崖錐堆積物。 層相は上位に似るが，φ10～30mm程度の亜角礫の混入が多く，非常に密である。			53.6	1.45 2.15	15	18	17	300 50	280					
3	13.75	3.80										51.7	2.43 3.15	13	18	80 19	280 50	290					8/21
4				礫混り砂		淡褐	rd3		崖錐堆積物。 マサ土起源の粗砂主体。一部岩構造を残す風化残留土塊状を呈する。 混入する礫はφ10mm程度が主体である。			21.0	3.44 4.15	5	6	90 10	290 21						
5												40.0	4.45 5.15	10	13	300 17	40						
6												12.0	5.45 6.15	4	4	300 4	12						
7	10.55	7.00										60.0	6.45 7.15	16	20	300 14	50	250					8/22
8				玉石混り粘土質砂		淡褐	極密		崖錐堆積物。 層相は上位に似るが，L=10cm程度の花崗岩転石を雑多に含む。			32.0	7.40 8.15	10	11	50 11	250 32						
9	8.60	8.95										88.2	8.45 9.15	20	30	300 50	170						
10				風化花崗岩		茶褐	極密		基盤である花崗岩の風化帯。 風化が芯部まで進み，土砂化が著しい。 岩構造は明瞭に残すが，指圧で容易に圧砕され，砂礫状を呈する。 DM～DH級，軟岩Iに区分			62.5	9.32 10.00	12	26	70 12	170 50	240					
11												250.0	10.24 11.00	50		40	240 50	60					
12	5.55	12.00										300.0	11.06 12.00	60 50			60 50	50					8/23
13													12.05	50			50						